



**令和4(2022)年 お世話になりました!**  
**令和5(2023)年も宜しくお願いします!!**

寅年という年は、新しいことを始める年としては、最適な年と言われるそうです。特に、今年の場合は、壬寅(みずのえとら)という寅年で、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起のよい年と言われるそうです。その意味では、「やればできる～自分の可能性を信じてチャレンジ～」は、ピッタリだったように思います。児童の皆さんはいかがでしたか？ 挑戦できましたか？

また、壬寅は、優しいトラを表すので、家族を大切にし、他人にも心を開くとよい年になると言われているそうです。こちらは、いかがだったでしょうか。

もし、心残りがあれば「まだ間に合う」と信じ、自分が納得して今年を終えることができるよう頑張ってみましょう。今年最後の挑戦を(▽)!

\*前号までに紹介できなかった行事を紹介します。

**<11/28 3年消防署見学>**

- 栃木消防署岩舟分署
- めあて ①栃木消防署を見学し、消防署にある施設や設備について知る。②火事や事故から人々を守るため、消防署内で働く人がどのような工夫や努力をしているのかを知る。



**<6年生修学旅行>**

- 11/1(火)～11/2(水) 1泊2日
- 神奈川・東京方面(横浜泊)
- めあて ①名所・旧跡などを見学し見聞を広めるとともに、自国の歴史や文化のすばらしさを肌で感じてくる。②学校生活では得られないさまざまな体験を通して、自ら判断し、主体的に行動できる力を身につける。③校外における活動を通して、社会のルールやマナー(公衆道徳等)についての認識を深める。④友達との活動を通して、温かい人間関係をより深め、小学校生活の忘れられない楽しい思い出をつくる。



- 内容(1日目)  
江の島・鎌倉市内班別行動(高德院、長谷寺、鶴岡八幡宮等)、横浜中華街(関帝廟見学・夕食)、スカイガーデン展望台(ランドマークタワー69階)見学、ホテルニューオータニイン横浜プレミアム泊
- 内容(2日目)  
横浜散策(日本丸、横浜税関等、赤レンガ倉庫、山下公園)、国会議事堂見学(衆議院)



日本丸の前で(ランドマーク全貌をバックに)

東京駅をバックに

## <5年生臨海自然教室>

■10/25(火)~26(水)1泊2日

■栃木県立とちぎ海浜自然の家

■めあて ①集団のきまり、友情、協力の大切さに気づき、実際に行動しよう。 ②自然を愛する心を持ち、行動しよう。 ③自分で判断し、よいと思うことは進んで行動しよう。

■内容

11/25 塩づくり

11/26 館内ウォークラリー

※鹿島港内一周(船)…荒天中止



楽しい臨海自然教室にするために、①自分の責任を果たす ②友達と協力する ③生活のマナーを守る をテーマに設定し、充実した1泊2日を過ごしてきました。私(江田)からは、出発時に「宿泊学習とは、“がまんをしに行く場です”」と話しました。帰校した5年生に「がまんできましたか?!」と尋ねたら「がまんできました!」と答えてくれました(‘◇’)ゞ(^▽^)/(+\_+)

## <11/15 避難訓練(不審者対策)>

■ねらい ①学校内に不審者が侵入した際に、児童一人一人が、安全に避難する方法を身に付けることができるようにする。 ②迅速かつ組織的に適切な通報・連絡・対処ができ、できる限り被害を防止し、児童の安全を確保する体制づくりができるようにする。

■協力していただいた方々

小野寺駐在所の菅井憲太様

スクールサポーターの尾花誠様

■内容 2校時後に不審者が昇降口から4年教室に侵入したことを想定し、児童の避難及び不審者対応を行う。



## <11/22 校内持久走大会>

1・2年生(1000m)



3・4年生(1500m)



5・6年生(2000m)



私の教え子の中に、“持久走大好き”という子がいました。理由を尋ねると「短距離は能力で決まる気がするけど、長距離は、自分ががんばった分だけ記録が伸びる。だから長距離が好きです。」と答えてくれました。きっと、小野寺っ子の皆さんもそんな気持ちで走ってくれたのかなと思います。保護者の皆様“暑い中”熱い応援ありがとうございました。

## <4年生 総合的な学習の時間>

学年テーマ「ふれあいから考えよう(福祉)」  
2学期の学習「障害のある方々とつながろう」の一環として、手話教室(11/28)と点字教室(11/29)が行われました。

<手話教室>

講師:中村信子様

(県聴覚障害者協会)

内容:聴覚障害者への理解と手話体験



<点字教室>

講師:藤岡点友会てんとうむし

(代表:畠山様)



栃木市社会福祉協議会のご協力もあり、障害の有無にかかわらず、誰もが互いに人格と個性を尊重し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶ機会を得ることができました。